

生活安全だより

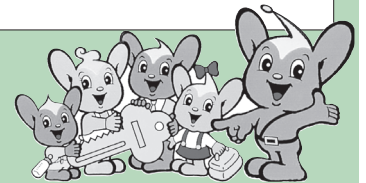


第 38 号
(令和3年4月1日)

発行 多摩稲城防犯協会
事務局 多摩中央警察署内
多摩市鶴牧1-26-1
☎・FAX 042-337-0019
E-mail: tamainagi-bouhan@nifty.com
HP: http://tamainagibouhan.org/

春の地域安全運動 5月1日(土)～5月10日(月)

守ろうよ わたしの好きな
街だから



多摩中央警察署管内 振り込め詐欺被害多発中！

キャッシュカードを
取りに行きます。

市役所です。
医療費の還付金があります。

多摩中央署の●●です。
犯人の持ち物にあなたの名前
が載った名簿がありました。

オレだけど、大事な書類を
無くした。
お金が必要になった。

騙されないで!! 電話でお金の話は

全部詐欺!!



多摩中央警察署管内 振り込め詐欺被害概況

	多摩市		稲城市		合 計	
令和2年	28件	約6,100万円	7件	約1,440万円	35件	約7,540万円
令和元年	28件	約5,740万円	11件	約2,090万円	39件	約7,830万円

※ 前年比 - 4件 - 約290万円

特殊詐欺対策 (自動通話録音機無料貸出キャンペーン)

全国地域安全運動(10月11日～20日)の期間中、出張貸出キャンペーンを行いました。多摩市役所・多摩中央警察署・多摩稲城防犯協会の協働により、多摩市内7ヶ所で行いました。特殊詐欺防止の街頭活動を行い、今、一番効果がある自動通話録音機を多摩市の協力で、貸出を行いました。京王多摩センター駅では、多摩中央警察署長・多摩稲城防犯協会会長が激励に来て頂き、各支部委員も特殊詐欺撲滅に声を上げて市民に呼びかけ、7日間で108台の貸出をいたしました。10月は特殊詐欺被害『ゼロ』になり、キャンペーンの大切さ、意識の大切さを感じました。去年は、多摩中央警察署管内では35件で大幅に減少しましたが、今年は2件、被害が報告されています。皆様の活動により、特殊詐欺被害を毎日『ゼロ』を目標に取り組んでいきたいと思っておりますので、これからも活動よろしく願いいたします。





多摩中央警察署

署長 島田 寿一

本年 2 月に多摩中央警察署に着任いたしました島田です。皆様には、平素から警察業務の運営及び諸活動に深いご理解と温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、例年行っている各種防犯活動の中止を余儀なくされましたが、インターネットやメールを活用するなど、活動方法を工夫してご協力をいただいたおかげで、刑法犯の認知件数を前年比－192 件と大幅に減少させることができました。特に、侵入盗の被害が前年比－13 件と減少したほか、ひったくりの被害を 0 件に抑えることができました。しかし、特殊詐欺については、発生件数は前年比で－4 件と若干減少したものの、依然として 35 件、被害額約 7,540 万円の被害が発生しており、高止まりの状況が続いています。

さて、本年は、新型コロナにより 1 年延期となったオリンピック・パラリンピックがいよいよ開催される予定であり、当署管内も自転車ロードレース競技のコースとなっています。署員が一丸となって警備に万全を期するとともに、管内住民の皆様の声に真摯に耳を傾け、優先的に対応が必要なことから速やかに対処し、管内住民の皆様が、この緑豊かで美しい街で安心して生活できるよう全力で取り組んでまいりますので、本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



多摩中央警察署

副署長 石井 和範

本年 3 月 1 日に着任した石井と申します。

緊急事態宣言中の、まさにコロナ禍のなか当署に着任いたしました。

新型コロナウイルス感染症の拡大により様々に社会活動が制限される中で、新たな手口の犯罪が発生するなど、治安情勢もその影響を受けて随所に変化を見せています。

こうした社会情勢を背景にした新たな犯罪は徹底して検挙しなければならないのはもちろんですが、その発生状況を皆様に発信し、未然に犯罪の発生を防止していくことが管内の治安維持において極めて肝要であると考えており、そのためには引き続き皆様のご理解とご協力が必要不可欠であります。

やがて暖かい季節を迎えますが、こうした時勢においても、署員とともに明るく職務に取り組んでまいりる所存ですので、引き続き、どうぞよろしくお願いいたします。



「犯罪を起こさせない美しい街づくり活動」

令和 2 年 11 月 8 日 (日)

稲城駅北側ロータリーと百村高架下で「犯罪を起こさせない美しい街づくり活動」を行いました。この活動は毎年、春と秋に実施しており、きれいな街は犯罪が少ないと言われることから多摩稲城防犯協会と多摩中央警察署が、環境美化活動の一環として、花壇に花の植栽を行っています。

また、この花の苗は、稲城市公共施設アダプト制度を活用して実施しております。



年末市内一斉防犯パトロールの実施について

令和 2 年 12 月 16 日 (水)、稲城市内 7 か所を拠点として、年末市内一斉防犯パトロールが実施されました。

今回は、団体の代表者のみ各拠点に参集し、その後、各団体のパトロールに移行するなど、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮し、可能な限り密集を避ける形での実施となりました。

そのため、参加者は約 630 名と昨年比で約 35 % の減となりましたが、防犯協会をはじめ各種団体など、地域の目で防犯意識の高揚を図ることができました。





令和2年度 中学生防犯作文



テーマ「withコロナ どうしたらいいかな 防犯活動」

「with コロナ どうしたらいいかな 防犯活動」をテーマに、応募総数 511 編の中から多摩中央警察署署長賞1名、多摩稲城防犯協会会長賞1名、優秀賞 13 名の計 15 編を表彰者として選定しました。なお、表彰式は新年度に開催の予定です。

「多摩中央警察署 署長賞」

多摩市立落合中学校 二年 門 永 梗 花

コロナ禍で変わりつつある生活様式。私は防犯活動にも新しい様式を取り入れ、犯罪に対応していく必要があると考えています。そこで、犯罪にある人的要因と環境的要因という視点から防犯について考えてみることにしました。

まず、人的要因についてです。犯罪は、自分の行動次第で防ぐことができるものもあります。そのため、身近に潜む危険に気づき、状況に応じて行動することも大切です。例えば、無駄な外出を避けることを意識することで、犯罪被害を防ぐだけでなく、感染症等の予防も可能になります。

次に、環境的要因についてです。暗い場所や、落書きやごみが放置してある場所人は通りが少ない傾向にあります。そんな場所を減らし、地域の環境を良くするため、今まで地域やボランティアの方々が清掃やパトロール等を行ってきたくれました。しかし、密を避けて行動することが必要な今、ボランティア活動は実施が困難だと思っています。私はコロナ禍でも地域の環境を良くする活動を続けていくために、マスクの着用や三密を避けた集合場所の検討など感染症予防を徹底していけば、できることも少しずつ増えていくと思います。その際電話などを使うことですぐに必要事項の伝達をすることも可能です。また、複数の集合場所や集合時間を設けることで広範囲でも活動が可能になります。

このように、自分の行動を考え直したり、少し工夫をするだけで様々な防犯活動が可能になると思います。なので、無駄な外出を避けるなど、できることから生活に取り入れ、防犯につながれるよう実践していこうと思いました。

防犯協会会長 奈良部 義彦

多摩稲城防犯協会会員の皆様、ならびに地域の皆様におかれましてはコロナ禍中、終息を願いつつ、お見舞い申し上げます。関係各位の皆様にご挨拶になかなかお伺いできず心苦しく存じます。

私も防犯協会は、活動範囲が狭まる中犯罪ゼロを目指し出来る活動させて頂いております。その様な中、多摩・稲城の中学生諸君に with コロナどうしたらいいかな防犯活動をテーマに、作文を募集したところ素晴らしい作品が多数あり、私どもも大変勉強させていただきました。地域とのコミュニケーションの大切さ、各種イベント中止に伴い余った予算で防犯カメラを購入しては？など色々なアイデアが盛

り込まれておりました。

犯罪に強い地域づくりには、やはり若い方たちに防犯意識を高めて頂き、やがて大人になり自分の子供に防犯意識を高めて貰えるような教育を実施して頂き、10年20年先には犯罪に強い地域が生まれることと思われまます。犯罪心理学にある『なぜ非行に走らない少年がいるのか?』と言う、逆転の発想から生まれたハーシーボンド理論に学ぶところは、社会との絆が多い少年は非行に走らないという理論です。私たち防犯協会は、広く地域社会との絆を深め、非行に走らない青少年育成に努めたいと考えます。今後とも皆様の多大なるご協力をお願い致します。

多摩中央警察署署長賞 (1 編)

多摩市立落合中学校2年

門永 梗花

多摩稲城防犯協会会長賞 (1 編)

稲城市立稲城第四中学校2年

吉田 美夏

優秀賞 (13 編)

多摩市立和田中学校2年

白鳥 想宇

多摩市立和田中学校2年

三好 かいり

多摩市立和田中学校2年

三谷 雪乃

多摩市立落合中学校2年

奥山 千結

多摩市立落合中学校2年

竹内 蓮咲

稲城市立稲城第二中学校2年

谷口 二葉

稲城市立稲城第二中学校2年

松尾 茄南

稲城市立稲城第四中学校2年

金子 和真

稲城市立稲城第四中学校2年

小林 花琳

稲城市立稲城第四中学校2年

新藤 立樹

稲城市立稲城第五中学校2年

樋口 華代

稲城市立稲城第五中学校2年

谷口陽向子

稲城市立稲城第五中学校2年

中山康太郎

「多摩稲城防犯協会 会長賞」

稲城市立稲城第四中学校 二年 吉田 美夏

新型コロナウイルスの影響で私たちの生活は大きく変化しました。外出自粛で多くの人がストレスをかかえていると思います。そんな中、今高齢者をねらった詐欺が増えています。そこで私はコロナの影響で増えた犯罪をどうやったら防げるのか考えました。

まずは、地域を見回ることが大切だと思います。たくさんの方が自分の家の周辺だけでも見回りをしてくれば、少しでも効果はあると思います。そして、近所の人たちと声をかけ合うことも大切だと思います。コミュニケーションをとることで、周りに困っている人がいないか確認できると思うからです。さらに、ずっと家にいて退屈だった人でもコミュニケーションをとることで明るく元気になれると思います。

このような見回りや、近所の人と声をかけ合うことは誰にでもできると思います。とくに今、在宅勤務などで若い人たちが家にいる時間が長いことがあると思います。そのような人たちが少しの時間でもこのようなことをしてくれば、犯罪防止につながるのではないかと考えます。

各支部活動

落鶴南支部

池田 朴三

支部として、報告できる活動実績は以下のとおりです。

①毎月第2木曜日午後5時半から2時間、定例会を開催。②毎日、支部員の一人が愛犬を連れ「わんわんパトロール」を行っています。③毎月2回第2・4日曜日に防犯広報車（青パト）を活用し、支部員3～4名が約2時間、広報活動や地域内パトロールを実施。④毎月1回第4木曜日に支部員5～6名で約2時間、鶴牧西公園、奈良原公園等6か所の公園内を巡回見守りパトロール活動をしています。⑤地域内に11カ所設置の掲示板に貼付のポスターの点検、更新等を実施。破損、汚損ポスターの貼り替え等適宜実施しています。⑥毎月支部発行の会報150部を関係先に送付。掲載内容は、支部活動結果や多摩市・多摩中央警察署その他の防犯活動情報、その他関連情報です。町会長、防犯部会長から好評を得ています。特に不審者情報に関心が高いです。



向ノ岡支部

福井 敏治



向ノ岡支部は防犯活動のみでなく、防災活動も行う防災・防犯部として自治会の会員を中心に活動をしています。部員は20世帯66人在籍しており、そのうち24人は未成年です。防犯パトロールは家族連れでの参加が多く、昼間に防災街歩きを兼ねて危険箇所を把握したり、子供目線での危険箇所の把握を行ったり、消火施設の確認などを行っています。春と夏休み明けには通学路の危険箇所に立ち、挨拶をしながら安全誘導を行い、送迎に出ているPTAや保護者とも協力しています。

部会ではグループディスカッションを行って、どうすれば災害時に被害を最小限にできるか、防災・防犯における自助・共助とはなど多くの意見を集め、互いの意識を高めながら顔見知りを増やすことに力を入れています。



2020年度は新型コロナ感染対策のため集まってくる活動は自粛しておりますが、交通看板設置依頼や監視カメラの設置、LINEを利用した情報発信などこの時期だからこその活動を行っています。

押立支部

関 和彦

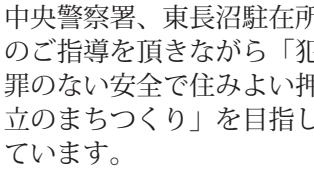
今回は、押立支部でも「それぞれのニーズにあった方法」で、防犯活動をしている団体、グループの一部を紹介いたします。

○ みどりクラブ押立高砂会は、小学生児童の通学路見守り、地域の防犯パトロールを、ほぼ毎週約15年間活動を続け、昨年5月には、警視総監感謝状を受賞いたしました。

○ 楽人会のグループは、健康散歩を兼ねて「天気の良い日以外は、2人以上集まったら実施する。」の簡単なルールで子供の見守り、地域の防犯パトロールを始め、約10年になります。

○ 四小見守りボランティア活動は、登校時間に交差点における交通整理と犬の散歩を兼ねた通学路の見守りなどの活動をしています。

押立支部では、年度末に「防犯活動交流会」を開催し、お互いの交流を深めて防犯活動の輪を広げ、多摩中央警察署、東長沼駐在所のご指導を頂きながら「犯罪のない安全で住みよい押立のまちづくり」を目指しています。



矢野口支部

原田 和哉



本年度は新型コロナ感染症予防のため、またそれに伴う緊急事態宣言発出のため、非常に活動しづらい状況が続きました。5月に予定されていた駅伝パトロール、支部主催パトロールも中止となってしまいました。

そのような状況下でも特殊詐欺の被害は拡大し続けていたため、6月からは青パトによる地域巡回を再開し、また集まって活動するのが難しいので、自治会理事が休日を利用し、特殊詐欺警戒チラシをポスティング、また介護予防体操、ラジオ体操会場等でチラシを配布するとともに注意喚起を促し、自治会だより11月号に多摩中央署生活安全課の監修を受けた特殊詐欺注意の記事を掲載しました。

また「犯罪を起こさせない美しい街づくり」活動に賛同し、京王稲城駅ロータリー広場の花壇整備にも参加させていただきました。

以前のように活動できる日を待ちわびながらも、今後も感染症予防に重きを置きながら防犯活動を続けていきたいと思っています。